

# 第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ セツナンダイガク	フリガナ ケイイカク	フリガナ ニホウゼミ
摂南大学	経営学部	西之坊 ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ カワシマジャパン	フリガナ カワシマ ユキオ	5
川島ジャパン	川島 幸雄	

## 研究テーマ（発表タイトル）

『終ナビ』～アプリから始める終活～

## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

私達は、終活を始める人の疑問を解消することを目的とした「終活総合アプリ」の企画・提案を行う。

楽天リサーチの「終活に関する調査でのアンケート（2018）」では、終活を「実施している」（7.9%）、「予定はないが、時期が来たら始めたい」（76.5%）、「近いうちに始める予定」（10.2%）だが、それを踏まえて、「何から手をつけたいか分からない」が「31.4%」であることが分かった。そこで、アプリの名前を「終活ナビ」（以下：終ナビ）とし、アプリにすることで、個人のニーズに合わせた終活をナビゲーションすることを狙いとする。

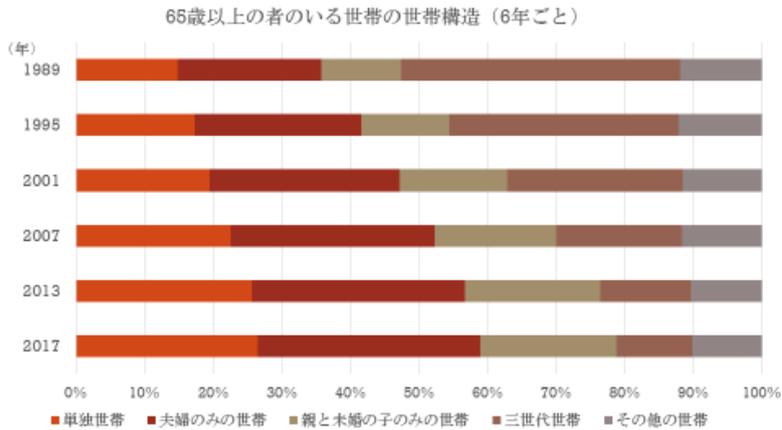
## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

「終活の現状・背景」

2018年現在では、「終活」という言葉を知っている人の割合は78.7%、聞いたことはあるが、よく知らない人の割合が17.9%、と「終活」という言葉を認知している人は、合計で96.6%となり、多くの人が「終活」という言葉を聞いたことがあるという現状である。しかし、終活の意向がある人は39.1%と関心が高まっているが、その中ですでに終活を始めている人は7.9%と未だに少ない。

「終活に注目した理由」

近年、日本では単独世帯や高齢者が増加している。厚生労働省の「平成28年国民生活基礎調査」によると65歳以上の単独世帯は27.1%と、2番目に多い世帯構造であった。1950年は1.4%と60年前と比較すると約19倍も増加している。また総務省統計局のデータでは、高齢者（65歳以上）の総人口に占める割合は、2018年には28.1%と、前年と比較すると0.4%増加している。超高齢社会となっている日本において、増えてゆく高齢者向けのサービスについて考えていたところ、2012年に流行語トップテンにも選ばれた「終活」に注目した。2018年8月に東京ビックサイトで3日間開催されたエンディング産業展の参加者も24,972人と、2万人を超える参加人数となっており終活市場への関心の高まりが見て取れる。

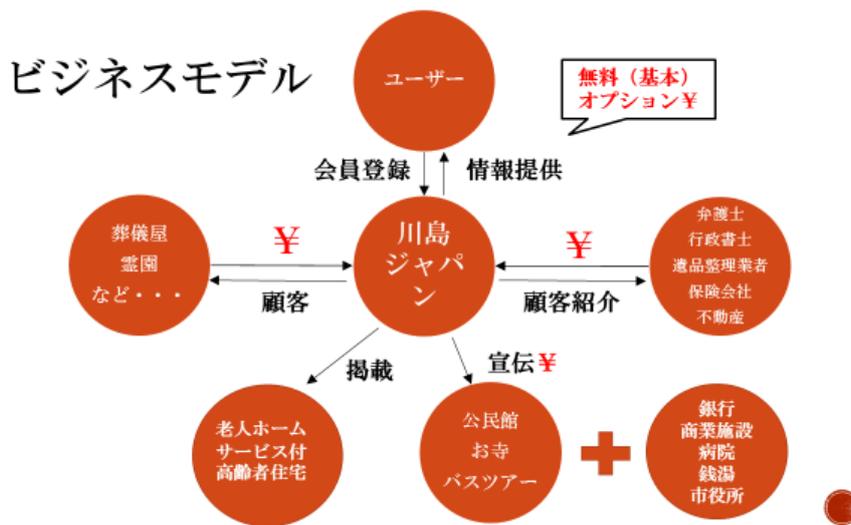


### 3. 研究テーマの課題

類似したウェブサイトが既にある為、そのサイトとどのような差別化を図るのが大きな課題としてあげられる。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

「ビジネスモデル」



「解決策①：アプリ化」

アプリ化し、会員登録制にすることで、情報をプッシュ通知で知らせることができる。よって、簡単に素早く情報を提供できる。

「解決策②：ユーザーに合った情報提供」

既存のウェブサイトでは、ターゲット層が広く個人にあったサービスが見つけにくい。そこで、終活チェックリストを作り、ユーザー個人の終活チェックリスト進捗度に沿って、情報を提供する。

「解決策③：ストリートビューを使う」

多忙な社会人や健康に支障があり、施設の訪問が困難な人向けに、“google map”を本アプリと連携させ、葬儀場や霊園、仏壇などの会場の風景をビデオでとり、ストリートビューとして提供する。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

## 6. 結果や今後の取り組み

現在の終活市場には、終活の総合アプリがないため、「終ナビ」は開発する価値があると考えます。また、「終ナビ」のターゲットである 40 代～60 代の「スマートフォン」を利用している割合は、総務省の「平成 29 年版 情報通信白書」によると、終活という言葉が生まれた 2012 年では 19.3%だったが、2016 年では 59.8%と半分以上の人がスマートフォンを利用している。今後、スマートフォンを利用する高齢者が増加すると考え、アプリでの終活は有益といえる。

今後の取り組みとしては、ヒヤリング調査の結果から終活サービスの認知度は低く、周知させる必要があるため「終活ナビ」のアプリの広報が挙げられる。クラブツーリズム株式会社では終活バスツアーを実施している。そういったツアーで本アプリの宣伝やチラシ配布を行う。また、商業施設や老人ホームなどの施設に本アプリのフリーペーパーを置いてもらう。このような宣伝方法を実施することで、宣伝広告費を低く設定でき、認知度を高めることができると考え、今後取り組んでいきたい。

## 7. 参考文献

厚生労働省「平成 28 年 国民生活基礎調査の概況」

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/dl/16.pdf>)

2018 年 10 月 31 日閲覧

総務省統計局「高齢者の人口」

(<http://www.stat.go.jp/data/topics/topi971.html>) 2018 年 10 月 29 日閲覧

中野敬一「“終活”ブームの背景と課題」

([https://kobec.repo.nii.ac.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=5439&item\\_no=1&page\\_id=33&block\\_id=148](https://kobec.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=5439&item_no=1&page_id=33&block_id=148))

2018 年 10 月 17 日閲覧

厚生労働省「死因順位別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率」

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii09/deth8.html>) 2018 年 10 月 31 日閲覧

厚生労働省 HP 「平成 28 年 国民生活基礎調査の概況 結果の概要 I 世帯数と世帯人員の状況」

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/index.html>) 2018 年 10 月 28 日閲覧

総務省統計局「統計トピックス NO.113 統計からみた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－ 1.高齢者の人口」

(<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1131.html>) 2018 年 11 月 3 日閲覧

総務省 HP「平成 29 年版 情報通信白書」

(<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc111110.html>) 2018 年 10 月 31 日閲覧

ENDEX「エンディング産業展」(<http://ifcx.jp/>) 2018 年 11 月 07 日閲覧

楽天インサイト HP 「終活に関する調査」

(<https://insight.rakuten.co.jp/report/20180215/>) 2018 年 10 月 7 日閲覧

鎌倉新書 HP「鎌倉新書株式会社」(<https://www.kamakura-net.co.jp/>) 2018 年 11 月 8 日閲覧

日本経済新聞「子に迷惑かけたくない」2017 年 8 月 21 日付朝刊 13 (2)

朝日新聞「就活について考える」2018 年 7 月 8 日付朝刊 13 (27)

● パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

## ●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

### 【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。